



データボード ⑤③

① 徳島県徳島市寺町24

「錦竜水」は、昔から徳島市の名水として大切にされてきた。いっただいに徳島城下は井戸水も含め水質が悪く、そのためこの良質の水を守るべく江戸時代には藩が眉山の麓に水番所を置いて保護を行い、「お水の使者」により徳島城内に水を運ばせていたといわれている。

しかし、昭和五十一年の眉山の土砂崩れにより水脈が途絶えていた。その後、昭和六十一年に徳島市や地元関係者の寄付金で復元工事が実施され、十一年ぶりに錦竜水は復活した。これが新聞やテレビ等で報道されるや名水の存在が広まり、現在では一日千人もの市民や観光客が訪れ、水を汲んでいく。